

## 西の湖における魚類相調査

根本 守仁

## ◆背景・目的

かつて西の湖は水草が異常繁茂していたが、平成18年に水草が急減し、その後は湖底耕耘やワタカの種苗放流等により水草の少ない状態が維持されている。水草がなくなったことにより、魚類相が変わったかどうかモニタリングすることは事業を実施するうえで極めて重要である。そこで、小型定置網による魚類相調査を実施した。

## ◆成果の内容・特徴

- ・平成21年3月11日に、西の湖に小型定置網3統を設置した。そして、魚類の採集を、3月13、14、および15日に行った。
- ・魚類採捕結果を表1に示した。今回の調査では、18種類の魚類、554尾が採捕された。調査期間中に多く採捕されたのは、ブルーギルが403尾、スゴモロコが39尾、ワタカが36尾、ニゴロブナが16尾、ハスが14尾、ギンブナが14尾、オイカワが10尾であった。

## ◆成果の活用・留意点

当场では、1994～1995年度および2002～2003年度に「琵琶湖および河川の魚類等の生息状況調査」が行われた。今回の小型定置網と設置場所が異なることおよび時期が異なることから、直接比較することができないが、今回の調査ではこれまでみられなかった在来魚が多数確認されている。来年度以降に、過年度と同様な調査を実施することが重要であると考えられる。

表1 西の湖における小型定置網による魚類採集結果

採集日	3月13日	3月14日	3月15日	計
設置日数	2	1	1	
ブルーギル	64	313	26	403
スゴモロコ	36	1	2	39
ワタカ	30	5	1	36
ニゴロブナ	4	8	4	16
ハス	10	3	1	14
ギンブナ	4	1	9	14
オイカワ	6	2	2	10
アユ	2	3	0	5
ホンモロコ	1	2	0	3
カマツカ	1	1	1	3
ビワヒガイ	1	1	0	2
ゼゼラ	1	0	1	2
オオクチバス	0	2	0	2
ワカサギ	1	0	0	1
モツゴ	0	1	0	1
ツチフキ	1	0	0	1
ゲンゴロウブナ	0	0	1	1
ヌマチチブ	1	0	0	1
合計	163	343	48	554

※ 本報告は、水産庁による平成20年度湖沼の漁場改善技術開発委託事業の成果の一部である。